
エースの基幹ブランド『Proteca』（プロテカ）

デザイナーの佐藤オオキ氏（nendo）

クリエイティブディレクター就任後初となる新生プロテカが 2015年1月28日（水）よりいよいよデビューいたします。

エース株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：森下宏明 以下、エース）は、エースの基幹ブランド『プロテカ』を刷新し、2015年1月28日（水）より「新生プロテカ」としてデビューすることを発表致します。

●エースの遺伝子を継承する「新生プロテカ」

プロテカは、スーツケース国内生産50年に亘るわが社の技術ノウハウを集結したトラベルバッグブランドとして2004年にデビューいたしました。多様化するトラベラーのニーズや、あらゆるトラベルシーンに対応できる製品を提案し、その高品質且つ機能性に富んだ製品で、この10年間に華麗なる進化を遂げ、お陰さまで幅広い客層の皆さまに大きな支持を得て参りました。

そして2015年はエース創業75周年であるとともに、プロテカの生誕11年目となる「第二ステージ」の始まりでもあります。エースの“遺伝子”を引き継ぎながら更なる高みに導くためにも2015年は非常に重要なステージになると考え、より高い品質や機能性、デザイン性を追求した、さらに進化したトラベルバッグとしてこの春、新生プロテカがいよいよデビューいたします。

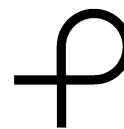
●機能性や利便性、そしてデザイン性に優れたプロダクトへ

羽田空港国際線ターミナルの開業や発着枠の増加、LCCの台頭、そして外国人渡航者（インバウンド）の増加など、トラベラーを取り巻く環境が変化する中、彼らの多様化するニーズに応えるべく、高い品質や機能性を備えた製品を引き続き提供すると共に、デザインにおいても新たな提案をいたします。

エースは2014年、東京とミラノに拠点を持ち、建築、インテリア、プロダクト、グラフィックと幅広い分野に携わり、世界的に注目されているデザイナーの佐藤オオキ氏に、プロテカのクリエイティブディレクターとして就任して頂き、11月には佐藤氏がクリエイティブディレクター就任後初となる新生プロテカの展示会を開催いたしました。今後佐藤氏には、プロテカのロゴやプロダクトデザインだけでなく、広告やイメージ戦略、ショップ展開など、ブランドビジネス全体のトータルディレクションをお願いし、全く新しいプロテカを構築して参ります。

ーロゴタイプの刷新

2015年春夏の新商品よりリニューアルされるロゴタイプは、佐藤オオキ氏によるデザイン。ProtecaのPを、一筆書きでシンボリックにデザインし、堅実な印象と、あらゆるライフスタイルに溶け込む柔軟さを表現しています。同時に、一本のシンプルな線で描かれたPは、無駄のない滑らかな動きで道を進む、Protecaの確かな品質も表現。Protecaが人と場所、人と人との緩やかに結びつけ、快適な旅のパートナーであり続けることを感じさせます。



新生プロテカ
ロゴタイプ

●スーツケースのアフターサービスについて

プロテカでは今回のリブランディングを機にカスタマーサービスのクオリティアップによる他社との差別化を図るべく、ご購入頂いたプロテカブランドのスーツケースを3年間無償で修理いたします。機内や空港での破損、またはその他の運送中に生じた損傷を含む破損についても無償修理の対象といたしました。3年の期間内であれば、何度でもこの保証サービスを受けることができます。（2015年に新製品として発売される商品から保証の対象となります。）

●フラッグシップショップについて ープロテカの世界観を表現ー

プロテカの重要な販売戦略の一つとして、ブランドの世界観を最大限に表現したフラッグシップショップを2015年4月10日（金）に東京・日比谷にオープンする予定です。木箱やパレットなどを什器に使用し、ショップ全体を黒で締めることでナチュラル感と高級感をバランスよく演出。艶のある天板は、キャスターに採用されたプロテカの象徴である「P」のロゴを反射させ、目立たせる効果を発揮します。この日比谷店を起点に国内展開している店頭を充実させ、またフラッグシップショップについても、大阪など主要都市へ順次展開していく予定です。



プロテカ フラッグシップショップ「日比谷店」
イメージベース

●海外戦略について

現在、プロテカは日本、韓国、香港、シンガポール、タイ、インドネシア、ドバイ、ミャンマーの8カ国で販売されています。今後は、技術と品質に対する絶対的な信頼感を強みとする「日本製」を切り口に、佐藤オオキ氏監修の高いデザイン性、機能性を活かし、新たな日本初のグローバルスタンダードとなるべく、まずはアジアや中東を中心としたマーチャンドライジングとマーケティング戦略を強化いたします。

◆◆What' s Proteca?

2004年にデビューした、エースの代表的なトラベルバッグブランド。
「Protect(守る)」「Technology(技術)」「ACE(エースの理念)」の造語。
プロテカのハードスーツケースの殆どが北海道・赤平工場の徹底した品質
管理の下で製造され、“究極の国産ラゲージ”として市場で販売されています。

PROTECA[®]
QUALITY MADE IN JAPAN

◆◆New Products

新生プロテカから、新たに19シリーズ(ハードケース、ソフトケース)が登場。1月28日から順次展開していく予定です。

[代表的な商品 (一部)]

360 サンロクマル

佐藤オオキ氏がデザインした画期的なハードケース。今までにないファスナー仕様で、上下、左右の4方向(360度)から使用環境に合わせて開くことのできるケースが誕生しました。収納スペースを1つに集約することでデッドスペースを作らず、荷物を効率的にいれることのできる内装は、上記360度開閉する仕様とともに特許出願中の機能です。その他、内装上部にスリッパやガジェット等を収納できる立体ポケット、パイル地のあおりポケットやメッシュポケットを装備し、高い利便性を実現しました。 [7色4型、55,000円~75,000円+税、3月上旬発売予定]



360 (サンロクマル)

360 SOFT サンロクマルソフト

佐藤オオキ氏がデザインした代表作の1つで、上下、左右4方向(360度)から開閉可能なソフトケース。ハードケースのデザインと統一感を持たせるべく、表面の「+」マークをステッチで表現しました。ケースを開けると、内装の4面にポケットが付属されているのも魅力的。細々した荷物を整理して収納できる他、前面ポケットは目隠しフラップとしても使えます。シンプルでありながら使いやすさ抜群の360 SOFTは、出張でもプライベートの旅行でも活躍すること間違いありません。

[5色3型、45,000円~55,000円+税、4月中旬発売予定]



360 SOFT (サンロクマル ソフト)

◆◆Creative Director' s Profile

佐藤オオキ

1977年カナダ生まれ。00年早稲田大学理工学部建築学科首席卒業。
02年同大学院修士課程修了、同時にデザインオフィス nendo を設立。
05年 nendo ミラノオフィス設立。06年、Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人100人」に選出される。12年 Wallpaper 誌(英)および ELLE DOCO INTERNATIONAL DESIGNAWARD にて Design of the Year を受賞。作品は Moma (米)、ポンピドゥーセンター (仏)、V&A 博物館 (英) など世界の美術館に収蔵されている。www.nendo.jp



◀北海道 赤平工場▶ 世界で唯一の“日本製”スーツケース工場



エースラゲージ株式会社 赤平工場

最新のテクノロジーと、職人技の見事な融合により、年間およそ15万本のハードケース、6万本のソフトケースを生産する日本で最大且つ唯一のラゲージ工場。最新システムとロボットの導入の他、リサイクルできる素材の採用、排水管理システムの導入など、環境保全活動の拠点としての役割も担っています。

1971年5月、北海道赤平市茂尻に完成。現在、建物面積34,569㎡敷地面積110,330㎡を所有。2011年に創業40周年、2014年にはプロテカブランド10年に加え、スーツケースの国内生産50周年を迎えました。

◆◆What's "A.T.I." ?

妥協することなく、ラゲージの本質を追求する。

エースでは、品質の徹底的な管理と技術の向上を図るために、北海道・赤平工場にA.T.I.(ACE Technology Institute[エース品質管理研究所]の略)を設立。常にお客様に信頼される最高レベルの製品づくりを目指し、多岐にわたる品質テストを実施しています。

また、A.T.I.では品質管理テストの実施のみならず、次代の新素材や機能、パーツなどの研究を日夜続けており、高品質なプロテカ製品のベースを支えています。



転落テスト

重りを入れたケースを、内側に突起のある1辺1.5mの巨大な六角ドラムに入れて転がす。ぶつかったり倒れたりした際の耐久性をテストします。



落下衝撃テスト

重りを入れたケースを120cmの高さから5回落下させ、キャスターの強度をテストします。



ハンドル強度テスト

5000回もの上下運動で、重りを入れたケースのハンドルとロックの耐久性をテストします。



キャスター走行テスト

重りを入れたケースを屋外で16km走行させ、キャスターの耐久性をテストします。時期によっては室内で行うこともあります。

その他、「ボディ表面摩耗テスト」(ボディ素材に摩耗テスト用の砥石を1,000gの荷重で押し当て、ボディ素材を250回回転させ、表面の摩耗状態と摩耗量を検査・測定し、摩耗耐久性をテスト)や「開閉テスト」(7500回の開閉を繰り返し、ロックやヒンジなどの耐久性を測定)、「耐湿テスト」(温度約40度、湿度85%の状況下に500時間置くことによる品質測定)、「温度サイクルテスト」(気温40℃、湿度85%のなかに24時間放置したあと、-20℃のなかに24時間放置。これを3回繰り返し耐熱性をテスト)など主に8項目の厳しいテストを実施しています。

エース株式会社 会社概要

社名 : エース株式会社 ACE CO.,Ltd.

創業 : 1940年1月1日

資本金 : 14億1000万円

代表者 : 代表取締役社長 森下宏明

従業員数: 1516名(2013年12月21日現在・連結)

事業内容: 旅行バッグ、スーツケース、ビジネスバッグ、スポーツバッグ、ファッションバッグ、旅行小物などの製造卸

売上高 : 320億円(2013年度・連結)

URL : <http://www.ace.jp>

系列会社: エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、株式会社エーストレーディング、株式会社グローバルプロジェクト、Zero Halliburton Inc.、ACE ITALIA S.R.L、SINGAPORE ACE PTE.LTD.、ACE HONG KONG LUGGAGE CO.,LTD.

【東京本社】〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE

【大阪本店】〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-2